広報 あさひ
58年
10月号
No.338／毎月1日発行
■編集・発行／朝日町役場 〒939-07 富山県下新川郡朝日町沼保810-5 ■電話／0765—㊸—1100

—健康づくりシリーズ—

スポーツの秋です スポーツやってますか？

—泊地区保育所親子運動会から—

役場新庁舎
建設位置決定

▲新庁舎建設位置

経過報告

新庁舎建設調査特別委員会委員長

6月22日、議員提案により、特別委員会を設置。組織委員会を召集。正副委員長を互選。議会の承認を得る。

第2回特別委員会

7月1日（金）
議会　全員出席

第3回特別委員会

7月15日（金）
議会　全員出席
町　町長、助役、収入役、企画財政課長他3名

県内モデル庁舎視察の件について協議。特に庁舎の構造のみに片寄らず、将来の都市計画構想に重点を置き、市街地形成の拠点となるにふさわしい地点を選び、予備知識を得るため、人口、地形、産業形態共に当町に類似したモデル候補地として調査した結果、浮び上がったのが、入善町はおとなりであるため視察の対象外とし、小杉町、婦中町、上市町の3庁舎にしぼられる。

なお、視察研修については、特別委員のみに限定せず、全議員の参加を求め、その日程を7月15日と定め散会した。

第4回特別委員会

7月26日（火）
議会　全員出席
町　町長、助役、収入役、企画財政課長他3名

敷地の規模と候補地の選定について協議。前回のモデル庁舎視察の経過を踏まえ、敷地の面積は将来の総合的な機能を完備するには少なくとも4、000坪ないし6、000坪を必要とする点では、町側も議会側も意見の一致を見たのであるが、さてそれだけのまとまった土地が泊を拠点とした場合どこに求めるかとなると、誰も軽々しく口に出せないようであったが、この際、議会側の考えをさし控え、町政執行の最高責任者である町長の構想がないはずがないと思い、審議のためのたたき台として公表するようにせまったところ、現在地は問題にならないと前置きされ、「いずれも一長一短があって、いずれとも決し難いが次の3地点しか考えられない」として上げられたのが、

●第1候補地として、都市計画街路清水町―大家庄線沿い日東紡南側国道8号線沿い。

●第2候補地には県道主要地方道泊―宇奈月線と町都市計画街路泊病院―桜町線との中間国道8号線沿い。

●第3候補地として県立泊高校南側木流川と町都市計画街路泊病院―桜町線との中間点国道8号線沿い。

の3候補地であった。

誰の見る目も同じだという全員無言の了解で、早速現地踏査に向い、各地点の現況を鳥瞰、将来の構想に併せ詳細な環境調査を行った。

各委員ともそれぞれの分野で活発な議論が交されたが最終段階における全員協議会での混乱を避けるため委員会での結論を保留して散会した。

第5回特別委員会

8月8日（月）
議会　全員出席
町　町長以下課長以上全員出席

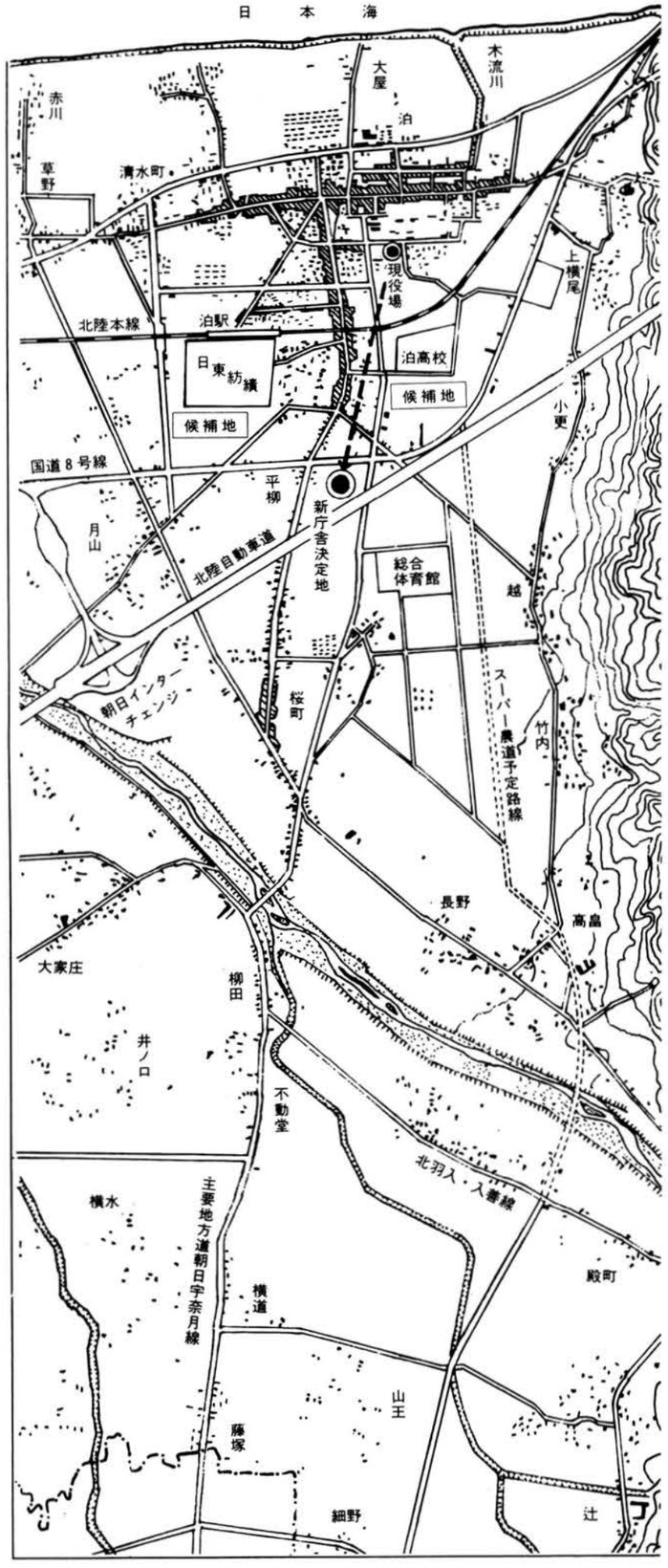
委員長より経過を報告。あらためて全議員による3候補地の現地踏査、現地において委員長より、それぞれの長短について簡単な説明をなす。帰庁後は全員協議会に切り換えて、審議を続行。

最終的には、別表のような結果となり、第2候補地が断然優位を示し、第1候補地及び第3候補地は共に比較にならなかったので、第2候補地が全員一致で新庁舎建設位置に決定した。

企画財政課長他4名

午前7時30分大型バスで出発。前回の協議日程にしたがい、小杉町、婦中町、上市町の順に視察。各議員から各方面にわたる突っ込んだ質問がなされ、各町ともそれぞれの特異性を生かした細かな配慮がなされていることが説明され、非常に参考になったようで、各議員の表情は極めて満足そうであった。

特に印象に残ったのは、かつて入善土木事務所長であった上市町の宮崎助役の説明は、さすがに土木技術者らしいアイディアに満ちた発想で、その後にお



候補地選定基準	第1候補地	第2候補地	第3候補地
①町勢発展の誘発条件	①片寄りすぎている。	①最良である。	①木流川、企業工場がある。
②諸般の環境	②悪い。	②最も良い。	②良くない。
③敷地造成費の比較	③良い。	③良い。	③物件買収があり埋土も大きい。
④交通条件	④悪い。	④最良。	④国道8号線曲線部分に面している。
⑤騒音の影響	⑤影響なし。	⑤高速道路が接近しており良くないが、ビジネスには支障がない。	⑤工場騒音が気になる。
⑥地下水と水質の関係	⑥良い。	⑥問題がない。	⑥良い。
⑦地盤地質関係	⑦問題がない。	⑦問題がない。	⑦問題がない。

新庁舎建設地の決定にあたって

朝日町長　寺崎　実

現庁舎は、昭和24年3月、泊町、宮崎村、南保村、五箇庄村の一町三ヵ村組合立泊中学校の校舎として建設されたもので、その後、昭和52年8月から役場庁舎として使用しているのであります。ご承知のとおり、この建物は、34年の年月を経過し老朽化が著しく、しかも修学施設として建設されたもので、行政の中枢としてのものとしては、狭あいであって、執務環境には必ずしも適しているとはいえず、新庁舎の建設は、町として長年の悲願でありました。

しかし、朝日中学校、南部、山崎保育所、老人福祉センター、総合体育センターの建設など、懸案とされた諸課題が山積しておりましたので、町民生活最優先の立場から、役場庁舎の建設を後に後にと延期してまいりました。

町といたしましては、昨年から建設基金の積立てを始め、また、朝日小川第一・第二発電所建設に伴う電源開発に対する地域振興協力金などから建設資金のめどが立ちましたので、町議会とも慎重な協議を重ねてまいりました。

特に、最も問題となる建設地の選定にあたっては、本年6月定例議会で新庁舎建設調査特別委員会が設置され、町、議会が合同で小杉・上市・婦中町庁舎と環境を視察してまいりました。

役場庁舎だけの敷地ならば、一万四千平方㍍程度で十分でありますが、朝日町百年の大計を考慮すると庁舎に隣接して公共施設が必要であり、最低二万平方㍍は必要であること、加えて将来の都市づくりの発展性を満たすとともに、町民の皆さんの利便性等を勘案いたしますと、現在地は物理的に対応が不可能でありますので、候補地として①平柳の日東紡南側　②国道8号線の山側に隣接した道下（一部平柳含む）③道下の泊高校南側の三ヵ所を挙げまして、議会と合同で現地を視察しました。

高校、日東紡績に近い候補地は、道路事情や環境などの面で難点が多かったのに対し、②の候補地は、「国道8号線や将来町の大動脈になる泊―桜町線に接して交通上便利であり、町の発展の可能性が強く、しかも、まとまった用地が確保できる」

ということで、特別委員会で了承を得、さらに議会全員協議会でも全会一致で決定していただいたのであります。

今後は、町民の皆様のご理解を得るとともに、町政推進のシンボルとして早急に具体化を図ってまいりたいと存じております。皆様の深いご理解と、暖かいご協力をお願い申し上げる次第でございます。

朝日町区長会長

美佐光平さん

私達の町は毎年わずかではあるが、過疎化の一途をたどっています。青少年は都市部にどんどん吸収され、老齢化は急速に進み、私達が受けている経済的、社会的メリットは大きく格差を生じつつあります。このときに念願であった庁舎建設の位置が決まり、新しく町のシンボルとして、活力にあふれる躍動と発展を期待し、誠に喜ばしくお祝いを申し上げる次第です。

建設位置は、北陸高速自動車道、国道8号線、舟見街道、都市計画道路と四方を主要道路に囲まれ交通の便の誠に良い所でありますが、一面、騒音・排気ガス等の公害対策、交通災害など

朝日町連合婦人会長

土居清江さん

町民念願の新庁舎建設実現を期待し、お喜び申し上げます。

山・海に恵まれた、自然環境として申し分なく、泊地内より朝日地域へと躍進した感じが致します。

ここ数年の間に、朝日町が発電などと相まって活気ある町に

を十二分に考慮しなければならないと存じます。

また庁舎のみ出来ればよいものでもありません。膨大な投資をして造られるのであるから、より一層町民に親まれ、喜ばれる庁舎であってほしい。公害対策等を含め、周囲を木立でおおわれた緑一ぱいの庁舎、用事に出向いた時などの散策と休憩、日没後の夕涼み、散歩等が楽しめる憩いの場として、何時も町民が立寄る殿堂としたいものであります。

なお公会堂等の施設を併設できる用地の取得等、将来を展望した施策をお願いする次第です。

新庁舎建設に伴う敷地の選定について

新庁舎建設調査特別委員長

洒井　栄

我が朝日町が多年にわたる宿願でありました幾つかの重要課題があり、これらの推移如何によっては我が町の将来を占うとまで言われ待望久しかった、境川における電源開発、市街地の伸展に大きなネックとなっていた県立泊高校の移転、一世紀にわたって紛争を続けて来た行政区画の設定、水資源に恵まれない悪条件を地理的条件のみで克服した朝日小川発電計画の着工、これらに連動して浮上した新庁舎の建設は、私にとりましても25年前の夢がそのままの姿で、思ったようにその偉容をのぞかせ、最後の総仕上げともいうべき庁舎の新設までに至りましたことは、町民の皆様と共にご同慶に堪えません。ここに至るまで本当に長い険しい道のりではございましたが、よく辛抱強くご協力くださいました。最後まで賢明なる御指導を賜りました、地元選出県議会議員の鹿熊先生をはじめ、4代にわたる町長さん、7期に及ぶ先輩、同僚議員の暖かいご理解と、今日までご支援を賜りました有権者の皆様に対し、衷心より敬意と感謝の誠を捧げたいと思います。

特に、今日あることに大きな期待を寄せられながら、この素晴しい出来栄えを見ずして没故せられたお二人の町長さんと二十数名に及ぶ先輩議員の〝御霊〟に対し、「総てが思ったように出来ました。安らかにおねむりください」とえりを正してご報告を申し上げます。

さて、新庁舎建設にあたりましては、議会の動きに対し、そのための特別委員会を設置することより、総てを町ご当局におまかせした方が用地の取得やその他の問題もスムーズに運ぶような予感がして、私個人としては、それほど乗り気にはなれなかったのではありますが、いざふたを開けて見ますと予想に反し、町長部局をはじめ議会内部にも特別な審議機関が必要であるとする考えが大勢を占めましたので、6月定例議会の最終日である6月22日に議員提案により、全会一致で可決、即日委員を選挙（泊校下2名を除く、各校下一名の割）し、続いて組織委員会を招集、正副委員長を互選、議会の承認を得たのであります。

しかし、建設にあたりましては、何んとしても地権者である皆様方のご協力なくしては出来ません。堪えがたいことではございますが、二万町民誇りの地として永久にその名を後世にとどめることでございましょう。どうかご理解ある協力を心からお願い申し上げます。

変ぼうし、さらに県境の山並の中に建設される新庁舎は、朝日町の近代パノラマを見る感がします。現在は、庁舎へ用立てに行く人は、要件も種々で年間の回数にも相当開きがあると思われますが、より多くの人が利用するために、併設された団体利用の集会場を是非設置していただきたいと存じます。

さらに交通面と致しまして、8号線横断の地域の人達のために、危険防止のため、陸橋か、地下道設置で安全の確保をお願いいたします。

新庁舎が、大地にどっしりと根をおろし、さらに産業開発やより以上の文化の交流が望まれるところです。新庁舎を最大限に活用し、地域のつながりや活動が円滑に展開されますよう、建設の一日も早からんことを期待申し上げます。

朝日町連合青年団長

古市直樹さん

現在の役場はかなり古く、しかも、旧泊小学校の跡地利用とあって、町を象徴する建物としては、正直いって不満でした。

その役場が移転、新築されるとのことで、大変喜ばしいことだと思います。

さて、その建設地ですが、現在の場所とどちらの方が足を運びやすいかと言うと、私は、さほど差はないと思います。

ただひとつ気になるのは、泊駅から離れていると言うことです。庁舎も泊駅と同様、町の重要な基幹施設であり、町を象徴する顔であります。

できるものなら、庁舎も駅前に移転させ、新庁舎を中心とした駅前整備を行えばとも思います。しかし、用地買収や予算面などの問題もあり実現できなかったのだろうと思いますが、もっと積極的な駅前開発を検討してほしいものです。

いずれにしても、決定された予定地は、今後発展する場所であると思いますので、町の顔として、はずかしくない、立派な庁舎を建設していただきたいと思います。

みんなの広場

みんなの広場は、みなさんのページです。あなたの言いたいこと、あなたの仲間たちや友人の紹介、仲間を集めたいときや探しもの・売りものなど、どんなことでもけっこうです。役場広報係までどしどしお寄せください。

文化的な催しが開ける会場を！

スポットライト

バレー教室30周年

佐藤妙子さん

今回は、バレー教室を開設して30年。このほど30回目の発表会を開催される、佐藤妙子さんにスポットを当ててみました。

◆佐藤さんは、福島県会津若松市出身の58歳。福島県立会津高等女学校を卒業され、日東紡績郡山支部に勤務。昭和21年頃から日東紡績泊工場で体育の指導をしておられました。

そして、昭和25年、第5回の国体で泊工場が団体徒手体操（一般女子）の部で優勝したことから、工場だけでなく、町の人達にも指導してほしいと頼まれ、昭和29年、泊で舞踊教室を開設され今日に。

さて、現在の心境をたずねると、「今30回目の発表会を無事に迎えることができ、大勢の方々の暖かい御支援に心から感謝するとともに、これからも、スポーツの基礎と踊りの芸術性を加味した、私独自の踊りを通して、児童、生徒たちの心身の健全な発育を願っています」とのこと。（第30回佐藤妙子舞踊発表会を10月9日、朝日町中央農協会館ホールで開催される）

また、特にうったえたい事をたずねると「朝日町は人情味豊かで文化的な町という印象が強いけれど、近年、体育館などスポーツ施設は立派になったものの、文化的な催しのできる会場がありません。今まで30年間舞踊の発表会を続けてきたが、良い会場に恵まれず、良い素質を持った子が沢山いるのに、それが充分発揮できず、舞踊の素晴しさをわかってもらえなかった。

スポーツと同じように、文化面にも力を注いでいただきたい」と、おだやかな中にもしんの強さを感じさせる話しぶりでした。

ふるさとへのたより

野田龍夫さん

富山県内に住みながら、長らくご無沙汰しております。

さて、広報「あさひ」を拝見し、町役場、青年議会の方々が、それぞれ活気に満ちた魅力ある郷土づくり、職場づくりに専念しておられる様子を知り、喜ばしく思います。

しかし、同時に「朝日町において若者の定住が減少する傾向にあること、また、高校を卒業して町内に就職している人は、けっこう見うけるが、大学を卒業した人で町内に就職をしている人は、ほとんどいないのが現状である」という坂口青年議会議長の文章を読み、これは大変深刻な問題であると思いました。

寺崎町長は、優良企業の誘致に積極的に取り組んでみたい、という意向を示しておられますが、陰ながら期待しております。

さて、小生は大学で数学を教え、研究している者であって、町政に関しては、まったくの素人であります。

今の学生は風采がよく、歌が上手で、紳士的であります。

間もなく、就職シーズンを迎え、学生は会社訪問を開始します。時折、耳にすることですが外観を気にして、会社訪問から帰ってくる学生がいるそうです。

また、会社の体裁を云々する親もいるようです。

地元企業の場合、とくにその傾向がみられるようです。たしかに、学生、親が希望するような企業が十分あるとはいえません。教育は心の問題であります。

地元企業の繁栄は、地元学生をも含めて地元民の心掛けにかかっていると思います。学生のすが、試合にはまだほど遠く、先輩のすばらしいプレーを見るとくじけそうになります。でも何よりも、練習を終えた後の充実感はすばらしく、ストレス解消、体力づくり、そして会員相互の親睦をモットーに、息の長い仲間づくりをめざしたいと思っています。幸い、谷理事長をはじめとしてやさしい指導者にも恵まれ、いそいそと練習に出かける今日この頃です。

方も親の方も、もっと地元企業に協力的であってほしい、と願うのは、筆者の独断であろうか。

地方の時代を次第に現実的なものにしてほしいと思います。

今の学生は、○×式に慣らされているせいか、物事を論理的に考える力がやや足りないように思われます。数学は論理の上に成り立つ学問であります。小生は、数学を通じて、県立技術短大の学生にはもちろん、富山大学の学生にも論理的なものの考え方を教えているつもりです。

最後に、寺崎町長に対する小生の希望として、

(1)もし可能ならば、将来、公害のないコンピューター会社の設立。

(2)地元の大学生と対話をする機会をつくって、教育の向上をはかること。

について考えていただければ幸いと思います。これを機会に朝日町の発展に報いるよう努力したいと思います。

野田龍夫氏略歴

朝日町宮崎出身。現在は、富山市下野新2507−25に在住。

昭和33年3月、東北大学理学部数学科卒業。工学博士（京都大学）現在、県立技術短期大学応用数学科主任教授。

国民年金相談室⑩

問　年金というのは，年をとってからもらうものなのですか。

答　それだけではありません。年をとってから支給を受ける年金を「老齢年金」（通算老齢年金）といいますが，このほかに，ケガや病気をして働けなくなった場合に受ける年金（障害年金），生活の中心者が亡くなったときに受ける年金（母子年金，準母子年金，遺児年金，寡婦年金）があります。

問　老齢年金の支給の条件とは。

答　満65歳（60歳以降でも受給できます。ただし，年金額は減額されます。）になったら，以後毎年，支給される年金で，59歳までに最低25年間（年齢に応じて，短縮措置があります。）保険料を納めていなければなりません。もし，1カ月でも納付期間が足りなかった場合は，支給されません。

なかまたち

山崎婦人ソフトボール愛好会

以前からソフトボールがしたいとの声も出ていたのですが、山崎には練習する場所もないし方法もわからないとの理由で、立ち消えになっていたのですが、この程、第三期山村振興事業で総工費三千八百万円をかけ、面積は七千七百平方メートルで照明塔二基を備えた立派な運動場が造成されるとのことで、これが完成すれば自由に練習ができるようになるところから、一気に盛り上がり、呼びかけたところ20代前半から40代後半までのママさんが十五、六名集まりました。

こうして『山崎婦人ソフトボール愛好会』が産声をあげたのです。

七月からの練習で日も浅く、おまけに大半の人が学校を卒業して以来十年、あるいは、二十年振りという人ばかりで、ルールから教えてもらい、基本練習を始めたばかりです。

現在、ソフトボールクラブの先輩である「レモンママーズ」の御協力で毎週土曜日、泊小学校のグラウンドで練習しています。

ストレス解消と体力づくり、そして会員の親睦を

町外に住んでおられる方「ふるさとへのたより」欄におたよりください！

さわやかさんこんにちは！

上野博美さん（23歳・荒川五丁目）

スケートがうまく！

★勤務先

朝日町役場　総務課

★趣　味

油絵，茶道，華道

★家族構成

両親との3人家族

国学院大学栃木短大を昭和56年に卒業し，役場というより図書館に勤務できたらと思って臨職として役場に勤めました。

そして，57年8月から電話の交換手をしています。

現在の心境は「一期一会」という言葉どおり……。電話で話しているだけで多くの方を知ることができます。また，応対で役場の印象が決まるだけに，1回1回大切に接したいと思っています。今は，たとえ顔で泣いていても，応対の際には明るい声で，相手の方に不快感を与えないよう努めています。

今年は，スケートでなんとか滑れるようになりたい。

理想の人はありません。話していて楽しい方なら文句ありません。

さわやかさん大募集

町内のさわやかさんを紹介します。町内出身の方ならどなたでもけっこうです。あなたの職場のさわやかさんを知らせてください。

みんなのたより

美化啓蒙作品
宮崎小学校6年
水島裕司君

スポーツを通じて心が通うことを実感

第10回日独スポーツ少年団同時交流派遣団員
鱼津高校2年　筒井靖子さん

第10回日独スポーツ少年団同時交流の派遣団員として、約1カ月間という長期にわたる西ドイツ訪問の機会を得ることができました。これは、私にとって大変貴重な体験であり、また、一生涯忘れることのできないすばらしい思い出ともなりました。

そして、この機会を与えてくださった方々に対して、深く感謝いたします。

去る7月15日正午、私たち一行は「平和への貢献としての国際青少年交流」という共通テーマを掲げ、第10回記念の日本代表として、恥のないように新たな決意を固め、一路フランクフルトへと向いました。

今回の交流会は、第10回記念ということで、連邦大統領カール・カーステンツ氏とのレセプションをはじめ、数多くのレセプションが行われました。そのため、真の目的であるスポーツ活動が少なくなってしまったようです。しかし、数少ないスポーツ活動を通じて、非常に驚かされたものです。

このようにして、長いようで非常に短かった第10回目の交流会も幕を閉じました。反省すべき点もありますが、私にとってこの交流から得たものはとても多く、本当にすばらしい経験でした。

責任というものが要求されました。多くの失敗もありましたが、その失敗というものが鮮明な気憶として残り、この多くの失敗は、これからの私には良い経験になったことと思います。

そして、ただ単に観光旅行として行ったのではなく、スポーツ少年団の派遣団員として、グループごとにまとまって行ったということから、集団生活の難しさ、それ以上に疲れている時に見えてくる人間性というものを乗り越えて、みんなと仲良くしなければならないことの難しさを知り、そこから人間どうしの触れ合いについて私なりの進歩があったように思います。

最後に、私自身の反省として言葉こそは通じなくても共にスポーツをすることによって、心が通い合うことを実感させられました。

実際、私はスポーツ活動を通じて、多くのドイツの方々と友情を結ぶことができました。

これらの体験を通して、スポーツの大切さ、すばらしさをしみじみと知らされました。

また、ドイツの方々と共にスポーツをすることは、私たちの共通テーマである「平和への貢献」の役目を大いに果たしているのではないかと思われます。

私が西ドイツで学んだ事の一つに、ドイツスポーツユーゲントの仕組みが挙げられます。

その組織の内容や実態、そして施設の設備などを日本と比較して、西ドイツは真のスポーツ大国であると考えされられました。

私たち北信越グループは、3つの家庭でホームステイをしたのですが、どの家庭も大変親切に受け入れてくださいました。

この民泊先での生活は、とても有意義なもので、西ドイツの人々の真の姿や生活様式、そして余暇の過ごし方に至るまで沢山の事を知ることができ、大変勉強になりました。特に、ドイツの方々の性格の陽気さには

集団生活を体験し人間的に進歩

第10回日独スポーツ少年団同時交流派遣団員
泊高校2年　木村文子さん

今回は、日独同時交流10周年の記念すべき年であって、大統領レセプションなど、公式の行事が多く、スポーツ活動が思ったより少なかったのが残念でした。

この同時交流に参加し、ドイツのスポーツ活動の状況を聞いて驚いたのは、青少年はともかく、高齢者の方もスポーツクラブに参加している人がけっこう多いことでした。

さらに、ドイツには、約6万の体操クラブ及びスポーツクラブがあるせいか、体育館の設備は格別すばらしいものでした。

ドイツでの3週間のうち、やはり、一番印象強く残っているのは民泊でした。全体プログラムも終了し地方プログラムに移動する時は、不安がつのるばかりで、これから先の事を考えると真っ暗でした。しかし、民泊先の方が暖かく受け入れてくださったため、それまでの不安がふっ切れたような気がしたものです。民泊先では、日本では味わうことのできないものも数多くありました。それに、ドイツはサッカーの国であるせいか、サッカーの試合を観戦した時には、胸が熱くなる思いでした。

何をとっても思い出に残るものばかりで、全部書きつくすことはできませんが、今、ドイツでの3週間という長期の生活を終えた私は、ドイツへ行く以前の私とは、全く違うような気がします。まず、ドイツでの生活そのものが、一切、自分の判断、責任にまかされていて、何をするにしても、他人からとやかく言われることのない分、自分の講義などを真面目に聞くことができず、ただ自分の楽しみばかりを追っていたような気がします。自分がグループ内で年少であることをいい理由にして、ただ年上の人たちに甘えていただけのような気がします。自分のはっきりした意志を持って行動することは本当に少なくただ導かれていったということの何と多かったことか……。今、思い出しても恥かしいことばかりですが、ただ一つだけ、この3週間の生活を終えて、自分なりに考え方を改め、これからもっともっと精神的に大人になって、この3週間のドイツ生活を無駄にしないよう、がん張っていきたいと思っています。

きれいに住みよい町に

泊小学校6年
下沢由香さん

つい2、3日前のことです。夕方、母と弟と私の3人で町へ買い物に出かけました。

とちゅう弟が道ばたに落ちていたアイスクリームのつつみ紙を、さっとひろってポケットに入れました。

私は、思わず「たかちゃん、きたない」と言いました。

弟は、しばらく歩いてから、道のわきに置いてあるくずかごにだまってポイッと、アイスクリームのつつみ紙をすてました。

母は、弟に「あんたもいいとこあるねえ」と言って、頭をなでました。

私も母のまねをして「あんたもいいとこあるねえ」と言いました。

そして、いつもわんぱくで、いたずらな2年生の弟を、ちょっと見直しました。それと同時に、弟をきたないと思った自分をはずかしいと思いました。

町の一人一人が、なにげなく川に、道に、山にとすてている空カンや、紙くずは、どこへ行っても目につきます。

宮崎小学校では、美化運動の一つとして、宮崎海岸の清掃を行っているということを聞きました。たいへんりっぱなことだと思います。

私たちの学校では、時々、校庭やグランドのくず拾いや草むしりなどをして、学校の美化に努めています。

自分の部屋が、ちらかっていたら、気持ちまでユウウツになります。

町の一人一人が、もっと気をつければ、この朝日町という大きな部屋がもっともっときれいで、住みよい町になると思います。

ボランティア活動に参加して

金山　清水文子さん

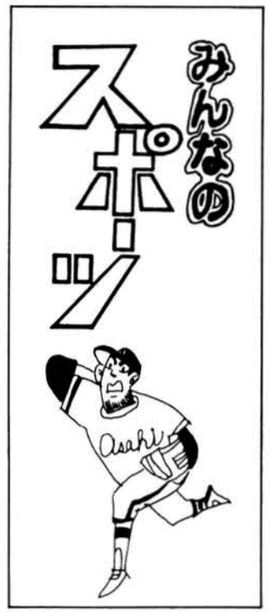
婦人民生委員のボランティア活動の一端として計画されておりました、舟見寿楽苑と新川むつみ園での奉仕作業が行われました。婦人民生委員13名は、2班に別れ、それぞれの会場に向かいましたが、私は6名の皆さんとともに、むつみ園で庭の草むしりを行いました。その間に園生たちが時々顔を出し「こんにちは。ボランティア御苦労様です」と愛想よくねぎらってくれたり、そばに寄ってきて、園生活の様子や工事中の体育館の落成を待ち望んでいること、自分の家族のことなど、一人一人がとつとつと語りかけ、その素直さに心打たれる一時もありました。

30度の炎天下で汗みどろになった作業でしたが、終わって「ああ来て良かった」と奉仕のできた喜びをしみじみと感じました。

4、5日して、園生のM子ちゃんから便りがあり、草むしりのお礼に続いて、ミシンやアイロン等も使える報告の後に、「お話しにきてくれてありがとう。また遊びに来てね」とたどたどしい文字でつづってありました。

「両親がいない」と言っていたM子ちゃんの顔が浮かんで熱いものが込み上げてきました。

奉仕作業のほかに、話し相手のボランティアができた事も、大きな実りであったように思われ、さわやかな想いをしております。次の機会にもぜひ参加したいと思っています。



県内一周駅伝大会

朝日町から33名出場

来る、10月29日(土)・30日(日)の二日間にわたり県内一周駅伝大会が開催され、距離275・4km78区間を16郡市対抗で走ります。当下新川郡選手団78名中、朝日町から33名の選手が出場します。

なお、町内通過は、29日(土)12：00朝日町福祉センター前、12：15不動堂川上工芸前の予定です。

出場選手は次のとおりです。

◇一般の部

笹原康直　草野
浜川啓輔　赤川
笹川保夫　荒川4丁目
江淵兼一竹ノ内
松下博明小更
安達正広辻岩崎
笹川恵子荒川4丁目
米田三和子東草野
森岡昭弘藤塚
九野木千津子本町
中島操清水町
吉本洋子西町

◇高校の部

塚本俊一大家庄
竹谷司宮崎
石橋清大家庄
水島崇弥生町
高田薫草野
平沢博荒川3丁目
安達和広辻岩崎
寺田崇月山
青島弘美宮崎
水島美穂境
渡辺あゆみ境
河村知佳子月山
中原良子坊

◇中学の部

谷口靖蛭谷
長谷和也南保町
嶋田元本町
由井咲子舟川新
横越博子大屋
森野真由子柳田
小杉有美荒川
由井優子舟川新
松田聖代桜町

ゲートボール公認審判員養成講習会を開催

来る10月23日、入善小学校においてゲートボール公認審判員養成講習会が開催されます。

これは、ゲートボールの審判法について研修するとともに、地域におけるゲートボールの普及を目的として行われるものです。公認審判員になるためには、2回の講習を受け検定試験に合格することが必要です。

1回目の講習をどの会場（市町村）で受けていても、今回の講習を受けると検定試験を受ける資格が与えられます。

受講を希望される方は、受講料500円を添えて10月11日(月)までに朝日町社会福祉協議会(83－0576)に申し込んでください。

◀フォームが大切と小島氏

県民スポーツ大学バレーボール開講

広く県民にスポーツに親しむ機会を与え、生涯スポーツの推進を図ることを目的として、県教育委員会主催の県民スポーツ大学が朝日町総合体育館において開催されました。

講師には、前全日本女子バレーボール監督の小島孝治氏と前全日本女子バレーボールチームのエースアタッカー水原理枝子氏を迎え、新川地区の指導者、家庭婦人、小中、高校生約300人が受講しました。

小島氏は、バレーボールに限らずスポーツはすべて練習の積み重ねと基本が大事と強調され、特にバレーは、体全体のスポーツでフォームを決めることが大切であると、模範を示して指導されました。また、水原氏の華麗な動きと正確なパスに、受講者全員が魅了され、大きなため息がもれていました。

第8回 スポーツ少年団大会開催

大会は、8月28日、朝日町民総合体育館において、朝日町のスポーツ少年団17団と魚津、黒部、宇奈月から招待した3団を含め、総勢500名が参加し開催されました。大会は、山崎スポーツ少年団（ソフトボール）山本朗士君の力強い選手宣誓のあと、種目ごとに各会場に分かれ日頃の鍛練の成果を披露しました。

愛の献血

8月実施分

境地区　末上真澄、水島春美、水島和彦

宮崎地区　加藤秀人、九里博、嘉義修、河内俊之、松本京子、松本研一

笹川地区　勝田誠一、小林司、

第9回 高桜杯少年ソフトボール大会

優勝は山崎Bチーム

第9回高桜杯争奪少年ソフトボール大会は29チーム450名が参加して盛大に開催されました。

この大会も今年で9年目となり、年々参加チームが増え、少年体育の振興と相互の友情の拡大を図るために大きな役割を果しています。特に技術面においては、大人顔負けのプレーをする少年も出てきており、将来、甲子園での活躍が期待される程です。

試合の方は、決勝戦で山崎どおしの対戦となり、山崎Bチームが9－4で山崎Aチームを破り優勝を飾りました。

成績は次のとおりです。

▽準決勝
山崎B 9－7 赤川草野
山崎A 13－9 東草野

▽決勝
山崎B 9－4 山崎A

三町々長杯軟式野球大会

第13回下新川郡三町々長杯軟式野球大会は入善町運動公園グランドを主会場に郡下76チームが参加して盛大に開催されました。

決勝戦は8月21日入善西中グランドで行われ、三太クラブが青柳クラブを6－4で下し4年ぶり3回目の優勝を飾りました。

優勝した三太クラブは9月10日から開催される第28回郡対抗野球大会に郡を代表して出場いたします。

▽準決勝　青柳クラブ 7－0 ドジャーズ
　　三太クラブ 3－1 ヤンチャーズ

▽決勝　三太クラブ 6－4 青柳クラブ

個人表彰

▽最優秀選手賞　山田勝正
▽〃打者賞　水野弘
▽敢闘賞　平田猛

泊一区　梅沢寛、居波映子、高松隆則、近江和夫

泊二区　越坂降一、大井康司、内川世紀信、谷美子、大沢英規、大和信勝、中山節子、川端幸子、伊藤友文、河村正人、竹内秀孝、藤田玲子、工藤正光、佐渡吉貫、寺崎重幸、湊秋男、岡静男、草充功、島田久志、若林和彦

泊三区　荒尾降幸、平坂真由実、湯上谷真、長谷宏、黒坂智恵、石綱子、沢田真澄、坂藤よしめ、河村浩、吉江勝広、黒坂明美、平沢一博、村上寛文、橘まるみ

五箇庄地区　谷口芳信、南茂輝子、山手理恵子、河村光夫、山田猛、幸田幸雄、谷フミ子、重田春江、河内芳美、広田慎一郎、河内恒次、永井靖裕、佐渡千晶、金井久子

南保地区　勝田見一、中村和彦、谷口知江、勝原成人

山崎地区　青島扶美恵、中島恭子、山本悦子、長田弘明、山本篤文、辻栄哲男、山崎奉子、久我口忠義、秋山晴美、谷口真吏江、大井勝彦、名古屋岳弘、青島勝則、七沢義弘、中島正

大家庄地区　由井千賀子、花井昭蔵、前川昭治、住吉勇、四杉彰、青木睦子、沢井志美子、松田孝子、青木繁、河端貴之、清水寛、藤田笑子　（96名）

10月のけんこう

貧血

怖い酸素運搬機能の低下

貧血とは、血液中に含まれ、酸素運搬に重要な働きをしているヘモグロビン（血色素）が減少することです。貧血になると血液の持つ酸素運搬機能が低下するために、疲れやすい、だるい、めまい、頭痛、立ちくらみ、さらには動悸、息切れなどの心臓に負担がかかることからおこる症状がみられるようになります。

鉄欠乏性貧血

貧血のほとんどは、鉄欠乏性貧血です。鉄分はヘモグロビンを構成する成分として不可欠なので鉄がないとヘモグロビンが生産されません。鉄分が不足する原因として最も多いのは、慢性出血です。中でも胃潰瘍や痔、寄生虫などによる消化器からのもの、月経過多、子宮筋腫などにも多くみられます。出血以外の原因としては、鉄分の摂取不足をあげることができます。極端な偏食や鉄分の足りない食事を、長年続けているとおこります。また、鉄分の豊富な食事をしていても、胃や十二指腸を切除した場合には、鉄分の吸収が低下して、貧血をおこしやすくなります。

鉄分に富む肉類

男性では1日約1㎎の鉄分を吸収できればよいのですが、女性では生理のため毎月一定量の鉄分が必ず失われるので1日1～2㎎が必要です。妊婦では胎児の成長や分娩時の出血などがあり、1日1.5～3㎎が必要とされます。普通1日の食事中に含まれる鉄分は10～15㎎といわれ、その約10％が吸収されるので、これは女性の必要量にほぼ足りる量です。ですから、少し生理の量が多い人、妊婦ではもっと鉄分に富んだ食事をとる必要があります。鉄分に富み、吸収率も良い食品としては獣肉類があげられます。特にレバーは鉄分の王様です。

朝日町では、非常に多くの人が貧血になっています。貧血をなくし、健康的で楽しい生活が送れるように努めましょう。

トピックス まちのうごき

8月21日～9月21日

▲第二ゲート通過！

8月21日
老人クラブゲートボール大会

8月21日（日）午前8時から，朝日中学校グラウンドにおいて，第1回朝日町老人クラブ連合会ゲートボール大会が，23チーム，約170名の参加を得て開催されました。

試合は，23チームを8ブロックに分けて，予選リーグを行い，ブロックで勝ち残った8チームでトーナメント戦を行いました。

それぞれ，日頃からの練習の成果か熱戦が相次ぎましたが，大家庄地区婦人チームが最後の栄冠を勝ち取りました。なお，次勝は，横水チーム，三位は下山新チームでした。

8月25日
交通安全全国キャラバン隊来町

「みんなで進める交通安全」をスローガンに全国交通安全母の会連合会の交通安全キャラバン隊の北陸・東海コース隊は，25日午後2時，新潟県から朝日町入りしました。

新潟県の県境，境のドライブインで新潟県名立町の母の会から朝日町母の会（代表　土居清江さん）にシンボル旗とたすき15本が引き継がれました。そして，午後2時30分，役場に到着。土居さんが，総務長官のメッセージを読みあげ，寺崎町長に手渡されました。

▼総務長官メッセージを読みあげる土居さん

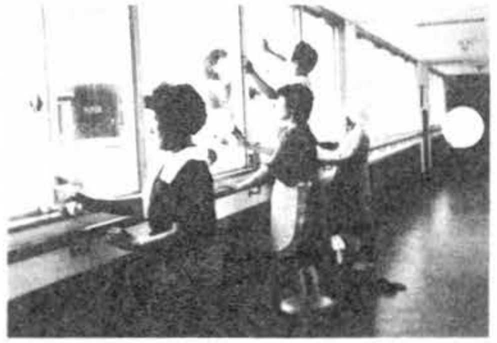
8月29日
婦人民生委員奉仕作業

8月29日（月）婦人民生委員のボランティア活動事業の一端として，婦人民生委員13名は，新川むつみ園の草むしり作業と舟見寿楽苑のガラスみがき作業を行いました。

当日は，フェーン現象で記録的な暑い日で，婦人民生委員の方々は，汗だくになって協力してくださいました。

また，それぞれの作業のほか，園生や入所者の話し相手をしてきたことなどの話題で，帰りのバスの中では，ボランティアが終わったあとのさわやかな充実感がみなぎっていました。

▼舟見寿楽苑でのガラスみがき



9月7日
高齢者教育研究集会開かれる

9月7日（水）に朝日町福祉センターにおいて，昭和58年度魚津地区高齢者教育研究集会が約120名を集め開催されました。

集会では，3つの分科会に分かれ，「高齢者の生きがいと社会参加を高める高齢者教育の振興をどのように図るか」について協議しましたが，3分科会のうち特に，高齢者人材銀行の運営部会では，登録者の活用について，いずれの市町村とも理想どおりの運用が困難で，その問題点について活発な意見が交換されました。

そのあと黒部市民病院内科医長の高桜英輔先生から「健やかに老いるには」と題して講演がありました。

▲第二分科会では人材活用について討議

9月10日～12日
朝日町児童・生徒作品展

第21回朝日町児童・生徒作品展が，9月10日から3日間，朝日町中央農協会館ホールで開かれました。町内の小中学生から合わせて60点が展示され，親子づれでにぎわっていました。金賞を受賞した中で特に優秀な作品は県展覧会に出品されることになっていますが，その作品は次のとおりです。

〔小学校の部〕
- 泊小3年　土居裕子（川原の石）
- 泊小5年　真岩謙二（発芽の条件と成長）
- 大家庄小6年　広沢　学（大豆の気孔の開閉）
- 泊小6年　松本奈保子（水溶液の性質と変化）

〔中学校の部〕
- 朝日中2年　土井里美，森野めぐみ，長井由香理（私たちの周りの自然と病害虫）

▼作品展示会場

9月12日
米寿者にお祝い品贈呈

▲祝い状を送る寺崎町長

この日，午前10時過ぎから，寺崎町長，牛丸文子県東部社会福祉事務所長（県知事代理）が，町内の米寿者26名（男3名，女23名）の該当者宅を訪問，お祝い状と記念品を贈って88歳のめでたい米寿の節目を祝いました。

米寿者は次のとおり。

稲垣みよ（西三浦町）入江きみゐ（東三浦町）越坂すて（下横尾）九里きよ（宮崎）波間三郎助（宮崎）水島ツネ（境）渡辺サヨ（境）水島ソメ（境）大平きり（境）平崎つ弥（中道下）大嶋きよ（桜町）谷口エイ（南保越）勝原ふみ（南保越）佃きよ（竹の内）越間さと（山崎越）安達助市（山崎越）中野みよ（坊）山本よし（横道）野村いさみ（下山新）石橋よい（井の口）藤田ひろ（三枚橋）長井岩次郎（月山）名越あい（月山）吉江みつ（草野）大田つか（清水町）草野スサ（上町）

以上26名

▲井上先生の講演

9月17日
県民大学校地方講座が開講

9月17日（土）県民大学校地方講座が町福祉センターで開講されました。

この講座は，中央で活躍しておられる各分野の先生方を招き，「地域文化の向上と心の豊かさを求めて」と題して，10月22日まで5回にわたって毎週土曜日の午後に開講されるもので，5回とも受講された方には修了証が渡されるものです。さて，第1回のこの日は，京都大学文学部を卒業され，現在大阪大学教授として教べんを執っておられる井上俊先生の「文化の時代」と題した講演で，自分の社会の伝統文化に誇りを持つことは大切であるが，他の文化に対して排他的な考え方を持ってはならないという内容でした。

10月の講演者は次のとおり
- 10月8日(土)　富山医科薬科大学教授 荻田善一「味とにおい」
- 10月15日(土)　歌　人 清田秀博「古典文学と郷土」
- 10月22日(土)　文教大学助教授 北林吉弘「大きく変わる富山県東部地方」

善意の預託

朝日町善意銀行

社会福祉のためにと次の方々から善意の預託がありました。

♡月山　長井栄作さより亡息子，克敏さんの供養のため，香典返しと遺金を　54,725円
♡五箇庄婦人会さんより　雑布 529枚
♡山崎生産森林組合さんより山崎地区老人クラブ連合会へ指定寄付　120,000円

おくやみ

境	和泉	義一（69）
境	水島	ミチ（65）
宮崎	佐田	フサ（81）
笹川	勝田	のぶ（83）
温泉町	稲山	つた（79）
東下町	松本	ちかの（85）
東下町	篠田	行男（35）
中町	國枝	やい（68）
中町	谷口	はる（70）
下道下	越間	英子（42）
平柳二区	大井	馨子（78）
桜町	大久保	三郎（52）
桜町	鍛治	ムラ（71）
月山	西村	吉衛（81）
草野	廣田	久松（79）
竹の内	湯上谷	あい（81）
殿町	大井	くさ（90）
大家庄	長能	やよ（75）
大家庄	高島	イツエ（69）
井の口	坂口	光男（36）
高橋	小川	仙松（60）
下山新	金森	ふじゑ（61）

おしあわせに

○境　水島隆司
新潟県　原美佐子

おすこやかに

境	高島祐一	長男	亮太郎
宮崎	岩嵜芳和	長男	学
宮本町	勝原正文	長女	桃子
東三浦町	青木金吾	二男	康弘
東三浦町	波間隆	二女	めぐみ
清水町	笹川徳夫	長女	ゆかり
荒川三丁目	橘裕一	長女	由香梨
栄町	酒井正志	長女	美樹
下道下	大和修	長男	昌成
平柳二区	藤田一嗣	長女	香織
桜町	南茂猛	二男	耕太
桜町	南茂唯洋	二男	江夏
月山	長井吉宜	二男	晃治
谷	堀地勇	長女	未沙子
辻岩崎	山田均	二男	浩司

図書館だより

朝日町立中央図書館

お知らせコーナー

れんげ読書会

日　時　10月12日(水)
　　午後1時30分～
会　場　福祉センター茶道室
テキスト　「青い棘」三浦綾子

ご寄贈ありがとうございました

「古典大系、日本の指導理念」10巻
寄贈者　朝日町ロータリークラブ

本の紹介

「むかし・あけぼの」小説枕草子

田辺聖子

平安の才女、清少納言　彼女は、美しいばかりでなく朗らかで怜悧、しかも文学的才能もゆたか、という類まれな女主人、定子中宮に仕え、生涯変わらぬあこがれと愛を捧げる一方、その躍動する才能をもって、人生や自然の良さを味わいつくし、日本文学史の中にさん然と輝く「枕草子」を生み出した

本書は、清少納言のつづった随想を、千年を経て、今清少納言とうたわれる田辺聖子が物語る愛の大長編小説です

新しい本

（小説）
幸福の距離　落合恵子
写楽殺人事件　高橋克彦
湖水祭　上　平岩弓枝
ふしぎとぼくらはなにをしたらよいかの殺人事件　橋本　治
こちら・団地探偵局　赤川次郎
迷走地図　上下　松本清張
陽師楼　宮尾登美子
続・時代屋の女房　村松友視
エジプト女王の棺　山村美紗
女たちだち　中沢けい

（一般図書）
ムツゴロウのさわやか日記　畑　正憲
桃太郎の運命　鳥越　信
天下茶屋の政子ちゃん　大屋政子
家族になるものこの指とまれ　桐島洋子
ふぞろいの林檎たち　山田太一
はじめの一歩　オフコース・ファミリー
嘘ついたら針千本　大森　黎
シルクロード第八巻・コーラン
の世界　日本放送出版協会
ぼくが電話をかけている場所　レイモンド・カーヴァー
花より結婚きびタンゴ　林　真理子
エクセレント・カンパニー　T・J・ピーターズ他
姉貴の尻尾―向田邦子の思い出　向田保雄
ちいちゃんしゃがみこまないで　うつみ宮土理

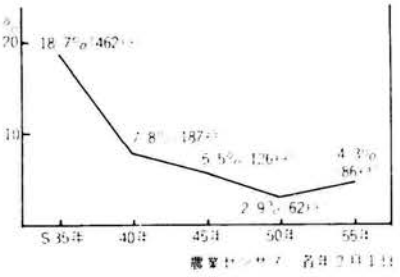
まちの姿 ⑥

「統計あさひ」より

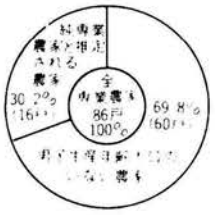
農林業センサスによれば、朝日町の総農家に対する専業農家の割合は昭和35年には18.7%（462戸）であったが、その後急激に減少し昭和50年には2.9%（62戸）となった

しかし、昭和55年には4.3%（86戸）と昭和50年に比べ、わずかではあるが増加に転じた　だが、その内訳をみると、男子生産年齢人口（16歳以上65歳未満の男子）のいない世帯が60戸もあり、前回に比べ14戸増加し、専業農家全体の69.8%を占めるに至った　これは、主に高齢化により、農業以外の仕事ができなくなった老人世帯であり、老齢人口の増加とあいまって、今後ますます本来の意味とは違った「専業農家が増加する」と考えられ、農業の生産性という観点から見ると、懸念される一面である

専業農家数割合の推移



専業農家内訳



今月の表紙

9月11日（日）に、泊地区の南部、中部、東部の3つの保育所が合同して、親子運動会が開かれました

さて、秋は季節が良いせいか色んな催し物が行われますが、とりわけ多いのが運動会です

この日も、沢山のお父さん、お母さんが参加して、お子さんといっしょに、駆けたり跳んだり　でも、こうしたことは、運動会だけではなく、普段からやってほしいものです　お子さんとの触れ合いとともに、お父さん、お母さん自身の健康にも良いことと思うのですが……

今月は、役場庁舎の建設位置が決まったことを、その経緯を中心に掲載いたしました　位置が決まったからといって、新庁舎が完成するまでには、まだまだ沢山の方々のご協力が必要です　耐え難い思いをされている方もおいでかと思いますが、ご理解の程よろしくお願いいたします

広報室